

## 【導入】

[録画開始]

1. 私の名前は \_\_\_\_\_ です。今日は \_\_\_\_年\_\_月\_\_日で、時刻は\_\_時\_\_分です。

私は ○○○○○さん (子ども氏名) に、 \_\_\_\_\_ (場所) で面接をします。

《 サポーターに励まされて、子ども入室 》

こんにちは。今日は来てくれて、どうもありがとうございます。○○さんとお話できて嬉しいです。《 面接者は迎え入れ、席に案内し、座ってもらう 》私の名前は \_\_\_\_\_ です。私の仕事は子どもから何があったか話を聞くことです。ここにビデオカメラがあります (機材説明)。これがマイクです。○○さんが話したことを全部覚えておけるように、この会話は録画します。録画しておけば、全部書き取らなくても、話に集中することができます。別の部屋で、私が○○さんからちゃんと聞いているか、一緒に仕事をしている人が見てくれています。あとで、私がちゃんと聞いているか、相談に行くこともあるかもしれません。

2. ラポール[ 誘いかけ、それから、時間分割、手がかり質問の4種類のオープン質問を用いて話してもらう ]:

● ○○さんのことをもっと知りたいので聞きますね。○○さんは何をするのが好きですか。

話してくれて、どうもありがとうございます。このように話してくれるとよくわかります。○○さんのことがわかってきたので、嬉しいです。

● ○○さんのことをもっと知りたいんです。学校で (休み時間に、放課後) 何をするのが好きか話してください／○○さんは (活動、趣味) が好きだと聞いてます。その (活動、趣味) のことを、話してください。

● ○○さんは、 (楽しかったこと/嬉しかったこと/面白かったこと) を話してくれましたね。こんどは (学校、幼稚園等。虐待があった可能性のある場所は出さない) であった、嫌だったこと (楽しく/嬉しく/面白くなかったこと) を話してください。 [気持ち、考えについても話してもらう。]

● ○○さんは、 (楽しかったこと、嫌だったこと) を話してくれました。そして、○○さんの (気持ち、考え) も話してくれました。話してくれてどうもありがとうございます。○○さんは、いいことも、嫌なことも、どんなことでも私に話ができる、というのが分かりましたね。これはとても大切なことです。

3. お話を聞く前にお願いがあります。(※は練習課題)

①わからない: もしも私の質問の意味がわからなかったら、「わかりません」と言ってください。私も、○○さんが言ったことがわからなかったら、説明して、と言います。

②知らない: もしも私の質問の答えを知らなかったら、「知らない」と言ってください。

\* では練習してみましょう。「私が (私は朝ごはんは何を食べたでしょう) と聞いたら○○さんは何と言いますか。

[ 正しく「知らない」と言ったら ]	[ 「パン」などと言ったら ]
そうですね。 知らないときは、今のように「知らない」と 言ってください。	いいえ、私が朝ごはんを食べたとき、○○さんは私と一 緒にいなかったから、何を食べたか知らないでしょう。 答えを知らないときは、知らないと言ってください。

③間違い: もしも私が間違ったことを言ったら、「間違っている」と言ってください。

\* では練習してみましょう。私が「○○さんは2歳 (誤った年齢、 「幼稚園」 など) ですね」と言ったら、○○さんは何と言いますか。

[ 正しく「間違ってる」/「違う」と言ったら ]	[ 「そう」などと言ったら ]
そうですね。○○さんは2歳ではないです ね。 [正しい答えが出てこなかったら] 正しい答 えは何でしょう。	いいえ、○○さんは (2歳) ではありませんね。○○さん は (本当の年齢) です。では、私が「○○さんは (今、立 っていますね) 」と言ったら、○○さんは何と言いますか。

そうですね。私が間違ったことを言ったら間違っていると言うこと、正しい答えを言うことがわかりましたね。

④本当: 私の仕事は子どもからお話を聞くことです。たくさん子どもと会って、何があったか、本当にあったことを話してもらいます。○○さん、今日は○○さんが体験したことについて、本当にあったことを話すのがとても大切です。○○さん、私に本当のことを話す約束してくれますか。

4. 出来事を思い出して話す練習 [ 上記4種類のオープン質問を用いて話してもらう ]:

○○さんのことをもっと知りたいので聞きますね。前のことを思い出して話してください。今日朝起きてからここに来るまでにあったことを最初から最後まで全部話してください。 / (または/および) この前 (先週、先月) , 誕生日だった (イベントがあった) と聞きました。そのときにあったことを最初から最後まで全部、できるだけたくさん話してください。どうもありがとうございます。とてもよくわかりました。

⑤全部話す: ○○さん、 (上で話してもらった出来事) のことを話してくれてどうもありがとうございます。今日話すときは、あったことを、どんなことでも全部話すのがとても大切です。

○○さん、今話していて、気分はいかがですか。

### 【本題への移行】

5. お互いのことが少し分かってきたので、こんどは（〇〇さん／私）がどうしてここにいるか、お話ししたいです。

〇〇さんがどうして ここ（一時保護所や面接を行なう機関）にいるか（または来たか）話してください。／ 今日は何をお話しにきましたか。

[ 出てこなければ、次のように言う ]

- ① 〇〇さんが / \_\_\_\_\_ (いつ) , / \_\_\_\_\_ (場所) で, / \_\_\_\_\_ (通告した人) に, / 話をしたと聞いています。〇〇さんが話した、その出来事について話してください。
- ② 〇〇さんの \_\_\_\_\_ (体の場所) に 傷 (または、あざ、跡、など) があります (または、あると聞きました)。その傷 (または、あざ、跡) ができたときのことを、最初から最後まで全部話してください。

【出来事の分割】(5で被面接者が「～するから来た」等、意味記憶のように話し始めた場合に用いる。5が一度だけの出来事として語られたなら、この出来事を聞き終えた後で、6を用い複数回なかったかを確認する。)

6. そういうことがあったのは1回だけですか、それとも1回よりも多いですか。

[ 「他にもあった」「いつも」「たくさん」などと言ったならば ] それでは一番最後のとき (または、一番よく覚えているとき、一番最初にあったとき) のことを話してください。

### 【自由報告】

7. オープン質問

- ① 誘いかけ：何があったか全部話してください。
- ② 時間分割：A してから B までのことを、全部話してください。
- ③ 手がかり質問：さっき Aと言っていたけれど、そのことを (について) もっと話してください。
- ④ それから質問：それから/その後は/そして (何がありましたか/どうになりましたか/どうしましたか) 。
- ⑤ エコーイング：(子どもの言葉を繰り返すのみ。使いすぎると子どもが話す時間が減ってしまうので注意。)
- ⑥ 返事：うん、うん

8. ブレイク

- ① たくさん話してくれて、どうもありがとう。これから、私がちゃんとお話を聞いているかどうか、別の部屋で見てくれる人に確認してきます。待っててもらっていいですか。  
《 面接者退室→観察室で相談→面接室に戻る 》
- ② 待っててくれて、どうもありがとう。それではあといくつか質問します。

9. WH 質問 (ペアリングを)

10. クローズド質問 (ペアリングを)

11. 確認のための質問 (会話/目撃者・他の被害者/開示/疑われている事柄に関する質問)

これらの質問は誘導・暗示となる可能性があるので、必要な場合のみ、面接の最後の部分に行う。回答を得たならば、オープン質問に戻り、自由報告を求める。

- ① その人は何か言いましたか。
- ② 他に誰かいましたか。
- ③ このことを知っている人は他に誰かいますか。／ その人はどうしてこのことを知っていますか。
- ④ (疑われる事柄) されたことはありますか。／ 誰かが (疑われる事柄) しましたか。

### 【クロージング】

12. たくさんのお話を話してくれました。助けてくれて、どうもありがとう。

- ① 知っておいたほうがよいこと：他に、私が知っておいたほうがよいことは、ありますか。
- ② 話しておきたいこと：他に、〇〇さんが私に話しておきたいことは、ありますか。
- ③ 質問：〇〇さんからは、何か質問はありますか。
- ④ 連絡先：また何か話したくなったら、ここに連絡してください。

《 迎えが来るまで中立的なことを話す。子ども退出 》

13. (配置図や身体図などがあれば、電源を切る前に、カメラに示す)

今は \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分です。これで面接を終わります。

[録画終了]

---

本手続きはLamb, M. E. et al. (2007) A structured forensic interview protocol improves the quality and informativeness of investigative interviews with children: A review of research using the NICHD Investigative Interview Protocol. *Child Abuse and Neglect*, 31, 1201-1231. Herschkowitz, I. et al. (2014). Allegation rates in forensic child abuse investigations: Comparing the revised and standard NICHD protocols. *Psychology, Public Policy, and Law*, 20, 336-344. REVISED INVESTIGATIVE INTERVIEW: VERSION 2021 にもとづき、留意事項等を加えたものです [RISTEX：多専門連携による司法面接の実施を促進する研修プログラムの開発と実装、「NICHD プロトコルにもとづく司法面接の最小限の手続き」(仲真紀子)]。プロトコル本体や最小限の手続きは <http://nichdprotocol.com/the-nichd-protocol/> , <https://forensic-interviews.jp/> からダウンロードできます。\*2504誤字、「大丈夫ですか」を「いかがですか」に修正。